

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【公表番号】特表 2005-535688 (P2005-535688A)

【公表日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2005-046

【出願番号】特願 2004-525354 (P2004-525354)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/661 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/661

A 6 1 P 35/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 6 日 (2009.7.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

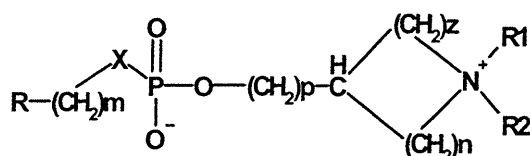
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 I I

【化 1】



式 II

[式中、互いに独立して、

n、m、p、z は 0 ~ 4 の整数であり、

X は O、S、NH であり、

R は H、直鎖または分枝の (C₁ ~ C₂₀) - アルキル基であり、この場合、これらは、飽和または不飽和であって、1 ~ 3 個の二重および / または三重結合を有していてもよくかつ、非置換または場合によっては同一または異なる C 原子上で、1 個、2 個またはそれ以上のハロゲン、ニトロ、シアノ、ヒドロキシル、(C₁ ~ C₆) - アルコキシ、アミノ、モノ - (C₁ ~ C₄) - アルキルアミノまたはジ - (C₁ ~ C₄) - アルキルアミノ基によって置換されていてもよく；

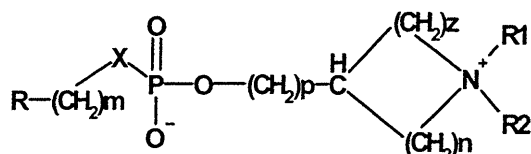
R₁、R₂ は互いに独立して、H、直鎖または分枝の (C₁ ~ C₆) - アルキル基、好ましくはメチルおよびエチル、(C₃ ~ C₇) - シクロアルキル基であり、かつ非置換または場合によっては同一または異なる C 原子上で、1 個、2 個またはそれ以上のハロゲン、ニトロ、シアノ、ヒドロキシル、(C₁ ~ C₆) - アルコキシ、アミノ、モノ - (C₁ ~ C₄) - アルキルアミノまたはジ - (C₁ ~ C₄) - アルキルアミノ基で置換されていてもよい] の少なくとも 1 種のアルキルホスホコリンと、担体および / または添加剤を含有する医薬品であって、代謝拮抗物質、植物アルカロイド、天然ホルモンのアゴニストまたはアンタゴニスト、レセプターキナーゼおよび / またはサイトソリックキナーゼの高分子および低分子の阻害剤の形のシグナル伝達阻害剤、カルボプラチン、オキサリプラチン、

ブレオマイシン、メトトレキサート、パクリタキセル、ドセタキセル、ビンクリスチン、ピンブラスチン、エトポシド、テニポシド、イホスファミド、5 - フルオロウラシル、フルダラビン、ゲムシタビンおよびシタラビンから選択された認可された抗腫瘍医薬での治療前および / または治療中に良性および悪性腫瘍を治療するための医薬品。

【請求項 2】

一般式 I I

【化 2】



式 II

[式中、互いに独立して、
m、p は 0 または 1 であり、
n、z は整数 2 であり、
X は O であり、

R は H、直鎖または分枝の (C₁ ~ C₁₇) - アルキル基であり、この場合、これらは飽和または不飽和であって、1 ~ 3 個の二重および / または三重結合を有していてもよく、
R₁、R₂ は互いに独立して、H、直鎖または分枝の (C₁ ~ C₆) - アルキル基、好ましくはメチルおよびエチル、(C₃ ~ C₇) - シクロアルキル基であってもよい] のアルキルホスホコリンを含有する、請求項 1 に記載の医薬品。

【請求項 3】

オクタデシル 1, 1 - ジメチルピペリジニオ - 4 - イルホスフェート含有する、請求項 1 に記載の医薬品。

【請求項 4】

認可された抗腫瘍医薬が、レセプターキナーゼおよび / またはサイトソルキナーゼの高分子量および低分子量阻害剤の形での、シグナル伝達阻害剤であってもよい、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の医薬品と、認可された抗腫瘍医薬との医薬組合せ物。

【請求項 5】

阻害剤が、モノクローナル抗体またはヘテロ環式化合物であってもよい、請求項 4 に記載の医薬組合せ物。

【請求項 6】

認可された抗腫瘍医薬が種々の細胞増殖抑制剤の組合せ物である、請求項 4 に記載の医薬組合せ物。

【請求項 7】

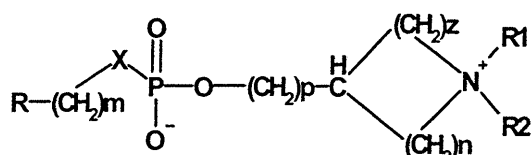
製薬学的に常用の担体、添加剤および / または希釈剤を含む、請求項 4 から 6 までのいずれか 1 項に記載の医薬組合せ物。

【請求項 8】

認可された抗腫瘍医薬での治療前および / または治療中に良性および悪性腫瘍を治療するための医薬を製造する方法において、

一般式 I I

【化 3】



式 II

[式中、互いに独立して、

n、m、p、z は 0 ~ 4 の整数であり、

X は O、S、NH であり、

R は H、直鎖または分枝の ($C_1 \sim C_{20}$) - アルキル基であり、この場合、これらは、飽和または不飽和であって、1 ~ 3 個の二重および / または三重結合を有していてもよくかつ、非置換または場合によっては同一または異なる C 原子上で、1 個、2 個またはそれ以上のハロゲン、ニトロ、シアノ、ヒドロキシル、($C_1 \sim C_6$) - アルコキシ、アミノ、モノ - ($C_1 \sim C_4$) - アルキルアミノまたはジ - ($C_1 \sim C_4$) - アルキルアミノ基によって置換されていてもよく；

R_1 、 R_2 は互いに独立して、H、直鎖または分枝の ($C_1 \sim C_6$) - アルキル基、好ましくはメチルおよびエチル、($C_3 \sim C_7$) - シクロアルキル基であり、かつ非置換または場合によっては同一または異なる C 原子上で、1 個、2 個またはそれ以上のハロゲン、ニトロ、シアノ、ヒドロキシル、($C_1 \sim C_6$) - アルコキシ、アミノ、モノ - ($C_1 \sim C_4$) - アルキルアミノまたはジ - ($C_1 \sim C_4$) - アルキルアミノ基で置換されていてもよい] のアルキルホスホコリンを使用することを特徴とする、認可された抗腫瘍医薬での治療前および / または治療中に良性および悪性腫瘍を治療するための医薬を製造する方法。